



# ViewFramer ユーザーガイド kintone ver. (PDF/ヘッダー明細)

Ver.1.4

## 改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/09/17	新規作成
1.1	2020/05/19	7.2 リストページからの出力を追記
1.2	2020/11/05	出力バージョンの違いについて追記
1.3	2021/12/02	3.4 その他のコンポーネント を追加 ラベルの「動的」にチェックを入れる操作について強調するよう編集
1.4	2023/08/07	「5.2.3 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定」 「5.3.2 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定」に注意事項を追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。  
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

## 本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、ViewFramer をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

帳票出力には、kintone アプリストアからサイボウズが提供している標準アプリを使用しています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

## 本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
<b>注意</b>	操作上の注意事項について記載しています。
<b>Point</b>	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
<b>参照</b>	本書における参照先を記載しています。
<b>[ ]</b>	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
<b>「 」</b>	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

# 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>5</b>
<b>2. 全体の流れ</b> .....	<b>6</b>
<b>3. テンプレートのデザイン</b> .....	<b>7</b>
3.1 テンプレートの新規作成 .....	8
3.2 基本操作の紹介.....	9
3.3 実際に作る .....	11
3.4 その他のコンポーネント .....	14
<b>4. 項目のマッピング</b> .....	<b>16</b>
<b>5. ビュー定義</b> .....	<b>21</b>
5.1 ViewFramer ログイン .....	21
5.2 ヘッダービューの定義 .....	23
5.2.1 ビューの作成.....	23
5.2.2 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定 .....	23
5.2.3 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定 .....	24
5.2.4 ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定 .....	25
5.2.5 ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件.....	26
5.3 明細ビューの定義 .....	27
5.3.1 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定 .....	27
5.3.2 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定 .....	27
5.3.3 ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定 .....	28
5.3.4 ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件.....	28
<b>6. マッピング定義</b> .....	<b>29</b>
6.1 マッピングの作成.....	29
6.2 マッピング管理: 詳細画面 .....	29
6.3 マッピング管理: 出力設定画面 .....	31
<b>7. 出力ボタンの作成</b> .....	<b>33</b>
7.1 詳細ページからの出力 .....	33
7.2 リストページからの出力 .....	38

# 1. はじめに

ここでは ViewFramer で出力する帳票を作成するにあたって重要となる「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を 2 つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

御請求書

発行日: 2017/09/01  
請求番号: 0001

日本オプロ株式会社 御中  
東京都港区芝3-43-15  
芝信三田ビル

デモ商事株式会社  
〇〇県〇〇市  
〇〇1-1-1 〇〇ビルズ  
11-1111-1111 / 11-1111-1112

下記の通りご請求申し上げます。

ご請求額 ¥756,000

請求締日 20日  
支払期限 2017/9/20

振込先 〇〇銀行 三田支店 123456

製品名	単価	数量	金額
商品1	100,000	1	100,000
商品2	300,000	1	300,000
商品3	100,000	1	100,000
商品4	100,000	1	100,000
商品5	100,000	1	100,000
商品6	100,000	1	100,000
商品7	100,000	1	100,000

備考

合計	¥700,000
消費税	¥56,000
総合計(税込)	¥756,000

1ページ

## ・非明細部

取引先や住所などのように、帳票上に一度しか表示されない項目が集まる領域。ヘッダーやフッター

## ・明細部

商品名などといった、帳票によって行数が変わる領域。「繰り返し領域」ともいう。

ViewFramer からこのヘッダー明細型帳票を作る場合、主に

非明細部: ヘッダービュー(起点となるアプリから抽出したデータ)

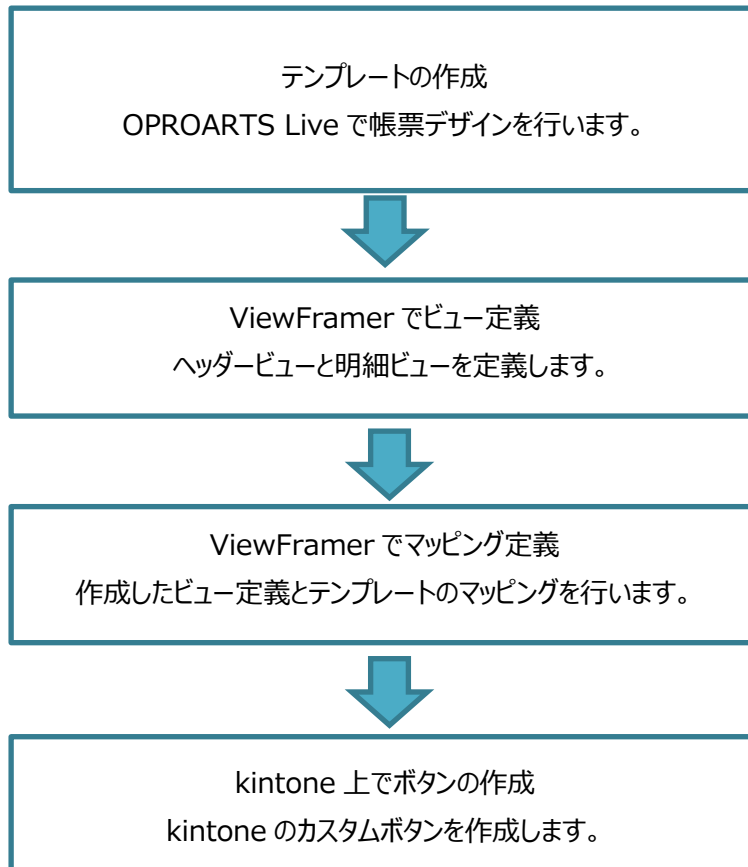
明細部: 明細ビュー(起点となるアプリの項目と対応する項目を持つアプリ(複数レコード)から抽出したデータ)

を用いてそれぞれの部分を埋めることとなります。

つまり、非明細部で使用するアプリのレコードと明細部で使用するアプリのレコードは 1 対 n の関係となります。

## 2. 全体の流れ

ViewFramer では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



# 3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

<b>サンプル帳票</b>	① 2019/06/03						
② サンプル取引先							
<table border="1"><thead><tr><th>商品名</th></tr></thead><tbody><tr><td>製品 1</td></tr><tr><td>製品 2</td></tr><tr><td>製品 3</td></tr><tr><td>製品 4</td></tr><tr><td>製品 5</td></tr></tbody></table>	商品名	製品 1	製品 2	製品 3	製品 4	製品 5	
商品名							
製品 1							
製品 2							
製品 3							
製品 4							
製品 5							
備考	③						
④ サンプルテキスト							
	⑤						
	Page 1						

番号	内容
①	帳票出力した日付
②	顧客情報アプリの会社名項目
③	商品リストアプリの商品名項目
④	見積書アプリの備考項目
⑤	ページの番号

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。  
任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※「見積書アプリ」と「商品リストアプリ」は kintone アプリストアの「商品見積書パック」のものを、「顧客情報アプリ」は「営業支援(SFA)パック」のものを使用しています。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。  
このマニュアルで使用しない各帳票コンポーネントは以下の章で紹介していますので、必要に応じてご参照ください。  
[その他のコンポーネント](#)

## 3.1 テンプレートの新規作成

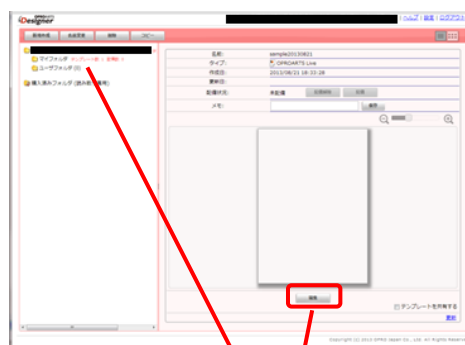
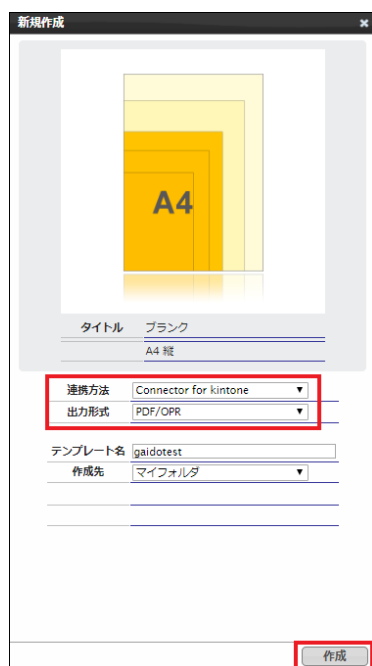
OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



ここでは、[ブランク] タブで A4 縦を選択します。  
連携方法「ViewFramer/D3Worker」、出力形式「PDF/OPR」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない



「マイフォルダ」以下のテンプレートをダブルクリックするか、[編集] をクリックして、デザイン画面を開きます。



## 3.2 基本操作の紹介

左上にあるコンポーネントのリストから配置したいコンポーネントを選択してからレイアウト上をクリックすることで選択したコンポーネントを配置できます。



また、画面左側に現れるプロパティを変更することで現在選択されているコンポーネントの詳細を設定できます。



その他に、知っておくと便利な基本のショートカットキーをご紹介します。

ショートカットキー	動作
[Ctrl] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントを 1px ずつ移動
[Ctrl] + [Shift] + [矢 印 (↑↓←→)]	コンポーネントをグリッドの間隔単位で移動
[Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントのサイズを変更
[Ctrl] + 選択	コンポーネントを複数選択する(※)
Ctrl+Z	取消
Ctrl+Y	やり直し
Ctrl+X	切り取り
Ctrl+C	コピー
Ctrl+V	貼り付け
Ctrl+A	全て選択(※)
Esc	選択解除
Delete	削除

(※)以下のコンポーネントを組み合わせると、同時に選択することはできません。

- 他のコンポーネントを内包するコンポーネント
- 他のコンポーネントに内包されたコンポーネント

## 3.3 実際に作る

ここでは、実際にテンプレートをデザインしながら Live の使い方を学んでいきます。

### 1. 罫線や枠線を引く

Line コンポーネントや Rectangle コンポーネントを用いて仕切り線を引きます。

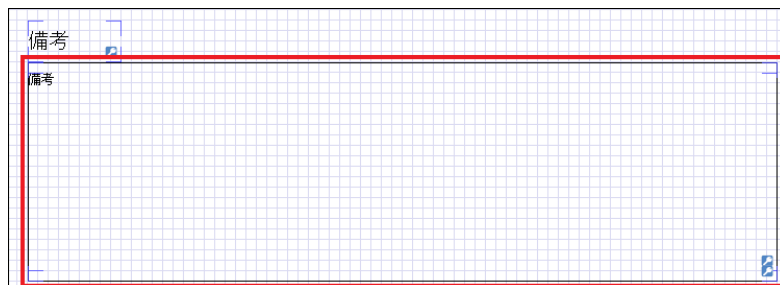


実際にレイアウトに配置するとこのようになります。

罫線



枠線

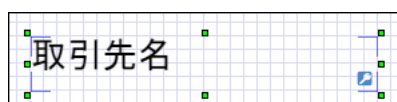


### 2. ラベルを配置、動的項目にチェック

文字列を表示したい部分には、Label コンポーネントを配置します。

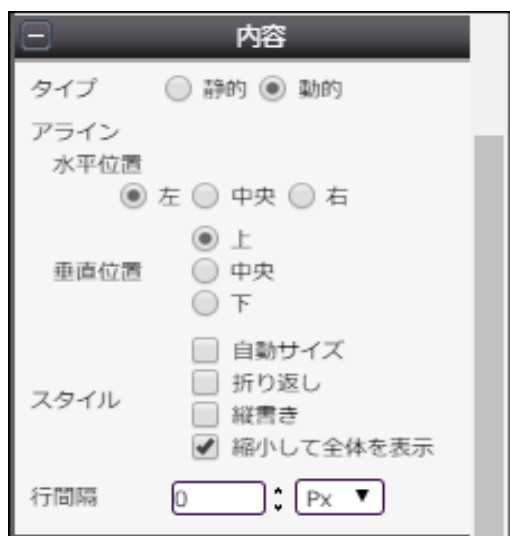


実際にレイアウトに配置するとこのようになります。



ラベルの詳細内容は以下のように設定します。

※ここでは取引先名を表示するラベルを一例として取り上げています。配置したそれぞれのラベルコンポーネントに合わせて設定してください。



- **タイプ**  
このラベルは取引先名の値を表示するので、「動的」に設定します。  
固定文言の場合、「静的」を指定します。
- **アライン**  
水平位置、垂直位置ともに、ラベルのどの位置に文字が表示されるのか指定します。
- **スタイル**  
文字数が多くても全体が表示されるよう、「縮小して全体を表示」にチェックを入れます。
- **行間隔**  
行の折り返しはしないので、0のままにしておきます。

### 3. データセットテーブルを設置

DataSetTable コンポーネントを配置して、明細部分のレイアウトを作成します。

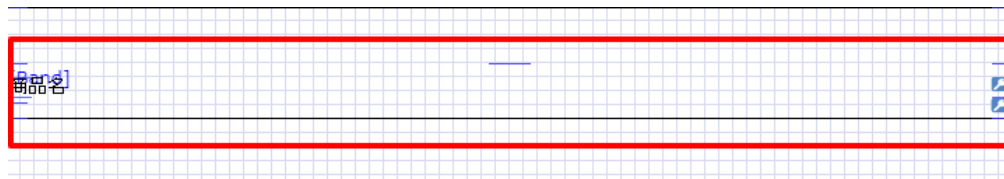


DataSet Table コンポーネントの中に、Band というコンポーネントがあります。



この中に配置されたコンポーネントは、明細オブジェクトレコードの数だけ繰り返し表示されます。

ここでは、商品名の動的項目ラベルと罫線を配置します。

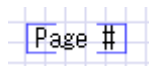


#### 4. ページ番号を挿入

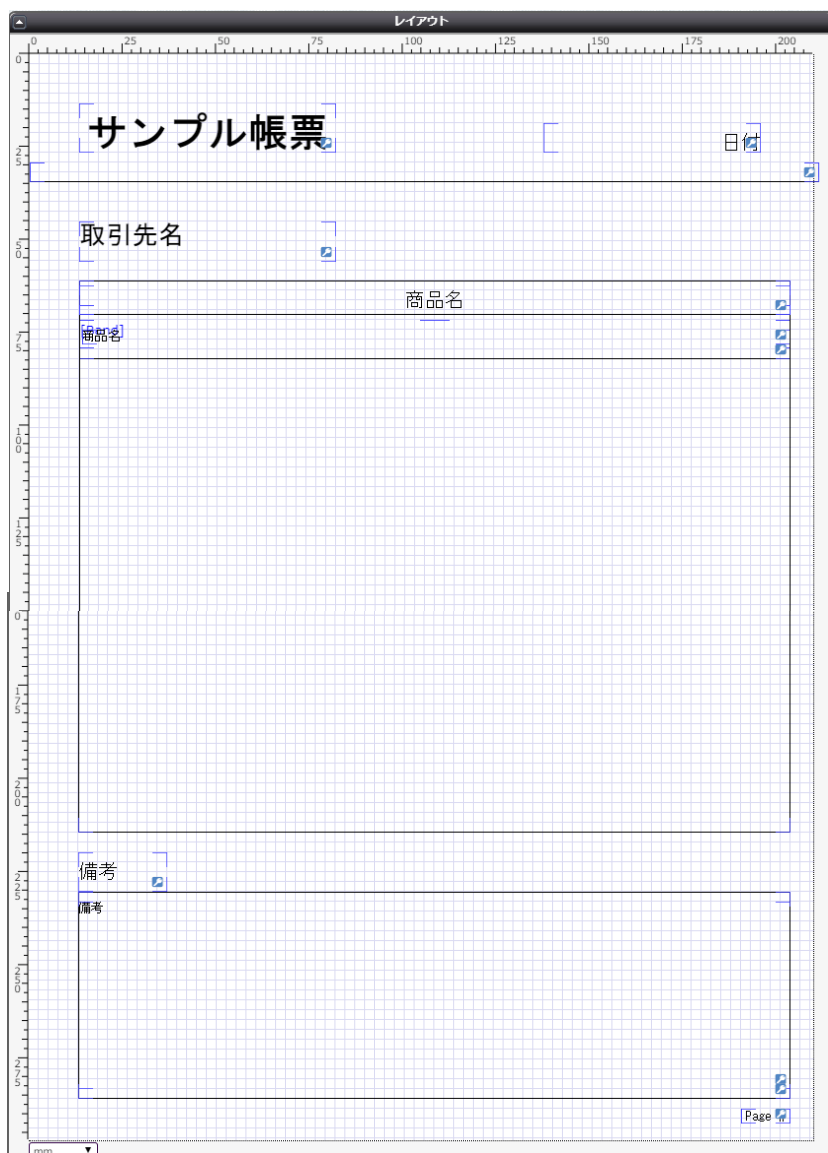
レイアウト右下にページ番号を配置します。



実際にレイアウトに配置するとこのようになります。



完成したレイアウトは以下です。



デザインが出来上がったら、保存ボタン(💾)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

### 3.4 その他のコンポーネント

ここでは、3.3 までに紹介したコンポーネントを含む全ての使用可能なコンポーネントについてリストアップして説明します。



番号	名称	機能
1	Line	レイアウトにラインを描画します。
2	Rectangle	レイアウトに正方形・長方形を描画します。
3	Circle	レイアウトに円・楕円を描画します。
4	Label	レイアウトにテキストを表示します。テキストは、静的に指定(コンポーネントに直接記述)するだけでなく、ドキュメント生成時に データソースの値を動的に適用することもできます。
5	Image	レイアウトに画像を挿入します。画像は、 ・お使いのブラウザよりアップロードされたもの ・外部サーバから URL で取得できるものを設定できます。
6	Barcode	レイアウトにバーコード画像を挿入します。Barcode の元となるデータは、静的に指定(コンポーネントに直接記述)するだけでなく、ドキュメント生成時にデータソースの値を動的に適用することもできます。
7	Page Number	レイアウトにページ番号を表示します。コンポーネント毎に、ページ番号の採番・表示ルールを設定することができます。
8	Total Page Number	レイアウトに総ページ数を表示します。ただし、OPR 形式での出力のみ有効なコンポーネントです。
9	Dataset Table	データソースのデータとリンクし、バンドを使用してレイアウトにテーブルを作成します。Dataset Table コンポーネントは、内部に Band コンポーネントを持ちます。
1 0	Horizontal Dataset Table	データによって明細行が右方向に伸びる点を除き Dataset Table コンポーネントと同じです。
1 1	Container	内部に複数 DatasetTable を配置可能なコンポーネントです。Container 内に二つの DatasetTable を配置して出力すると、最初の DatasetTable にテーブルの内容すべてを表示した後、二番目の DatasetTable にテーブルの内容を表示します。

Dataset Table 内に設定できるコンポーネント

名称	機能
Band	Dataset Table コンポーネントに繰り返し領域（明細行）を描画します。Dataset Table 配置時に内包されています。
Report Header	Dataset Table コンポーネントにレポートヘッダ領域を描画します。レポートヘッダは、繰り返し領域（明細行）の前に1度だけ描画されるヘッダです。
Report Footer	Report Footer コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにレポートフッタ領域を描画します。レポートフッタは、繰り返し領域（明細行）の後に1度だけ描画されるフッタです。
Column Header	Column Header コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにカラムヘッダを描画します。カラムヘッダは Dataset Table の明細行の直前に描画されるヘッダです。見出しの役割をします。
Group Header	Group Header コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにグループヘッダを描画します。グループヘッダは、Dataset Table のデータを任意項目でグループ化し、その際のヘッダを描画します。
Group Footer	Group Footer コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにグループフッタを描画します。グループフッタは、Dataset Table のデータを任意項目でグループ化し、その際のフッタを描画します。

## 4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに CSV データ項目をマッピングします。

1. 画面左上の「コンポーネントグループ」内、「ページ」と「DatasetTable1」の両方について、CSV 定義を追加します。



「ページ」にチェックを入れ、[CSV 定義を追加]をクリックします。



「DatasetTable1」についても同様にします。





2. それぞれのコンポーネントグループについて、CSVデータのフィールドを決定します。  
[追加]ボタンでフィールドを追加します。

ページ

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義    マッピング

↑   ↓   削除

CSV 定義

区切り記号付き     固定長

フィールド区切り記号  ▼

文字列の引用符  ▼

先頭行を無視する

データ出力条件

フィールド名	データタイプ	形式
AccountName	text	
Remarks	text	

追加   削除   上へ   下へ   形式の読み込み...   サンプルCSV

Dataset Table1

2. DatasetTable1 向け CSV

フィールドを定義    マッピング

↑   ↓   削除

CSV 定義

区切り記号付き     固定長

フィールド区切り記号  ▼

文字列の引用符  ▼

先頭行を無視する

データ出力条件

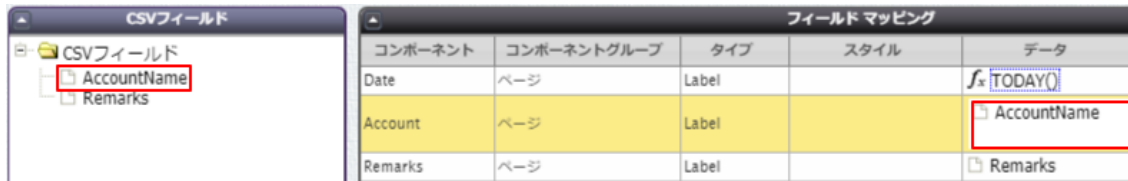
フィールド名	データタイプ	形式
ProductName	text	

追加   削除   上へ   下へ   形式の読み込み...   サンプルCSV

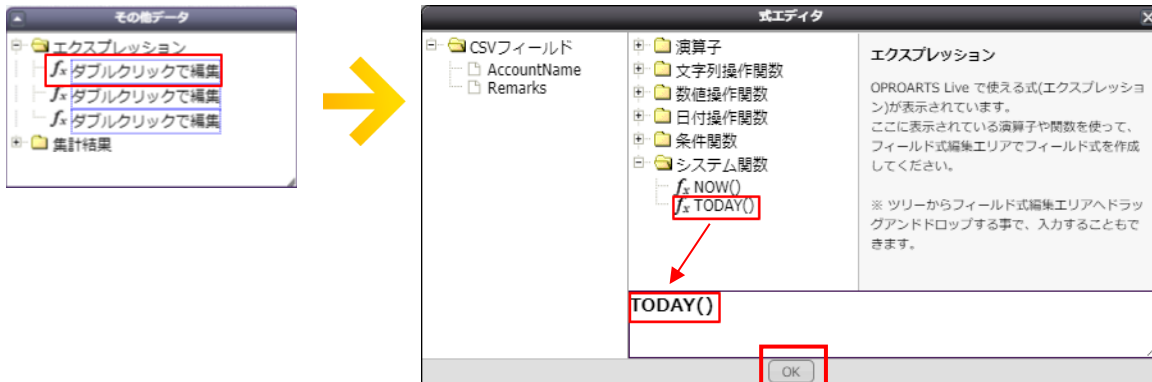
※「先頭行を無視する」のチェックを必ず外してください。外さないと、CSVデータが正しく連携されません。

3. フィールドを追加したら、それぞれのフィールドについてテンプレートのどの動的項目と対応するかを決定します。設定したいフィールドの行をクリックして、画面左側の「CSV フィールド」から対応させたい項目を「データ」欄にドラッグ＆ドロップします。

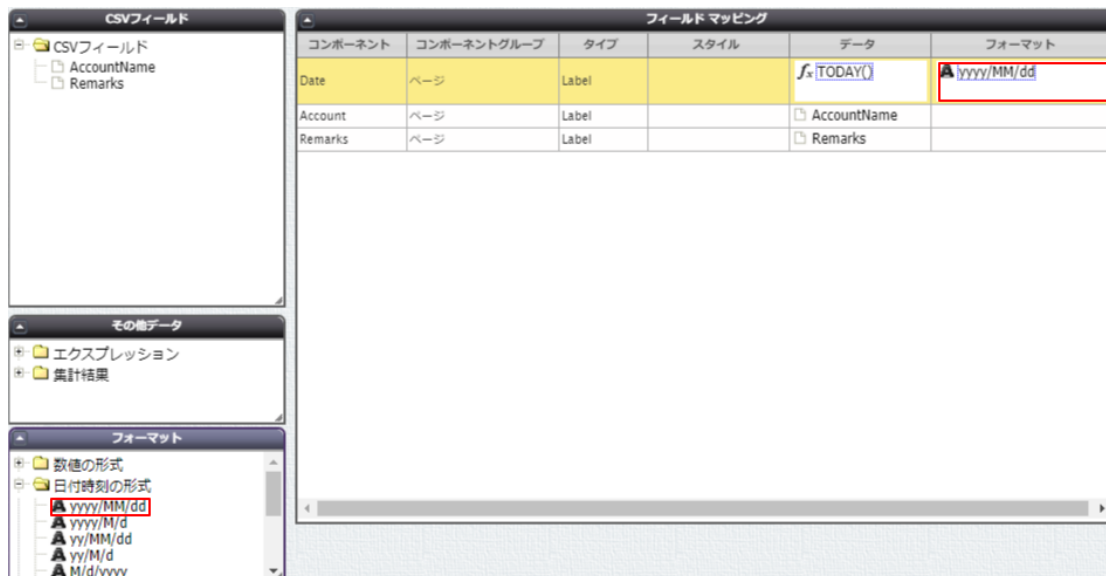
ページ



フィールドには組み込みの関数を使用することもできます。ここでは Date 項目にシステム関数の TODAY()を使用しています。



表示の際のフォーマットを指定したい場合は、画面左側の「フォーマット」からお好みの項目をフィールド行の「フォーマット」欄にドラッグ&ドロップします。ここでは、日付の表示を「yyyy/MM/dd(年四桁、月二桁、日二桁)」に指定しています。



4. 明細部分についても、同様にマッピングします。

## Dataset Table1



5. マッピングが終わったら、[保存]をクリックします。

CSV定義

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

2. DatasetTable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

リセット 保存

6. テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。

テンプレート配備ウィザード

テンプレートの配備

テンプレートは保存されましたが、帳票出力にはまだ反映されません。反映するには「配備」ボタンをクリックしてください。  
配備ボタンのクリックで、「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」配下に [ ] テンプレートをコピーします。  
配備することによって、下記のフォーム、ボタンから出力できるようになります。

ドキュメント生成フォーム

配備

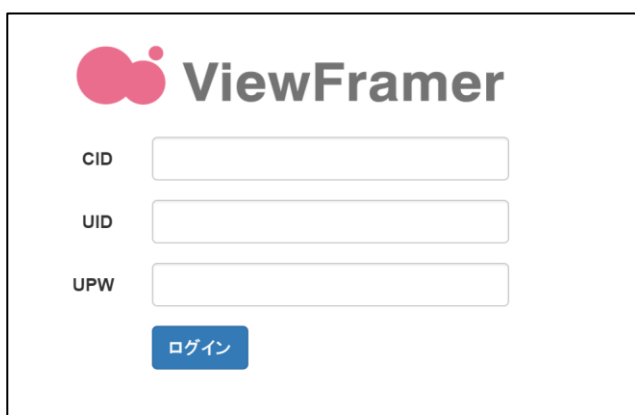
※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

# 5. ビュー定義

ViewFramer でビューを定義します。

## 5.1 ViewFramer ログイン

最初に、[https://vfui.ap.oproarts.com/view\\_framer\\_ui](https://vfui.ap.oproarts.com/view_framer_ui) にアクセスし、OPROARTS 認証情報を入力して ViewFramer にログインします。



The image shows the ViewFramer login interface. It features the ViewFramer logo at the top left, consisting of two overlapping pink circles and the text 'ViewFramer'. Below the logo are three input fields labeled 'CID', 'UID', and 'UPW'. At the bottom of the form is a blue button labeled 'ログイン' (Login).

次に[認証情報]タブを開き、kintone へログインします。



The image shows a Kintone login form titled 'ログイン' (Login). It includes a dropdown menu for '環境' (Environment) set to 'kintone', a 'サブドメイン' (Subdomain) field with 'aaaa', a 'ユーザID' (User ID) field with 'admin', and a 'パスワード' (Password) field with '\*\*\*\*\*'. There is also a 'ゲストスペース' (Guest Space) section with a checkbox and a 'スペースID' (Space ID) field. At the bottom, there are two buttons: '現在のセッション情報を継承する' (Inherit current session information) and 'ログイン' (Login).

帳票出力に利用するアプリがスペースにある場合は、スペースIDを入力する。

帳票に使用するアプリのAPIトークンを登録します。APIトークンは各アプリ設定から発行をしてください。

※ここで使用するアプリは、kintone アプリストアの「商品見積書パック」の「見積書アプリ」と「商品リストアプリ」、また「営業支援(SFA)パック」の「顧客情報アプリ」です。



The screenshot shows the 'kintone ユーザ認証' (Kintone User Authentication) page. At the top, there are input fields for 'ドメイン' (Domain) and 'スペースID' (Space ID). Below this is a table with columns 'アプリID: アプリ名' (App ID: App Name) and 'トークン' (Token). The table contains three rows: '11: 顧客情報' (Customer Information), '8: 見積書' (Estimate), and '9: 商品リスト' (Product List). Each row has a '+' and '-' button to the right of the token field.

アプリID: アプリ名	トークン	
11: 顧客情報	[Redacted]	+ -
[Redacted]	[Redacted]	+ -
8: 見積書	[Redacted]	+ -
9: 商品リスト	[Redacted]	+ -



The screenshot shows the 'APIトークン' (API Token) generation page. It includes a '生成する' (Generate) button and a table with columns 'APIトークン' (API Token) and 'アクセス権' (Access Rights). The 'APIトークン' column contains 'xPz' and the 'アクセス権' column has checkboxes for 'レコード閲覧' (Record View), 'レコード追加' (Record Add), 'レコード編集' (Record Edit), and 'レコード削除' (Record Delete). There is also an 'アプリ管理' (App Management) checkbox.

APIトークン

REST APIでこのアプリを操作するためのトークンを生成できます。

例: curl -H "X-Cybozu-API-Token: YOUR\_TOKEN" "https://shz6i.cybozu.com/A/v1/record.json?app=1357&id=1"

詳細は [ヘルプ](#) を参照してください。

APIトークン	アクセス権
xPz	<input checked="" type="checkbox"/> レコード閲覧 <input type="checkbox"/> レコード追加 <input type="checkbox"/> レコード編集 <input type="checkbox"/> レコード削除 <input type="checkbox"/> アプリ管理

## 5.2 ヘッダービューの定義

### 5.2.1 ビューの作成

「ビュー」タブで「新規」ボタンをクリックします。



kintone にログインします。

(以降「現在のセッション情報を継続する」でもログイン可能です。また、以降のスライドではこの画面を省略しています。)



### 5.2.2 ビュー定義: 詳細画面 – 基本設定

基本設定では、ビューの名前とタグ(任意)を設定します。

タグは ViewFramer 内で作成したビューを検索する際のキーワードで、何も指定しなくても構いません。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。例では、「QuotationHeader」としています。

※ ビュー名は半角英数で入力してください。



## 5.2.3 ビュー定義: 詳細画面 – リレーション設定

リレーション設定では、ビューで用いる kintone アプリを設定します。

主オブジェクトに「見積書」を選択し、ショートネームを入力します。任意ですが、例では以下のように指定しています。

見積書 = Quotation 顧客情報 = Account

関連オブジェクトには「顧客情報」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。

設定をしたら「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 見積書 Quotation 主オブジェクトのショートネーム

No 関連オブジェクト

1 顧客情報 Account + -

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	会社名	等しい(=)	0-見積書	宛名

取引先と商談を結びつける条件を設定

戻る 元に戻す 次へ 保存

<主オブジェクトと関連オブジェクトについて>

主オブジェクトは、起点となるアプリを指定して下さい。(必ずしもボタンを配置するアプリとは限りません。)

関連オブジェクトは、帳票上に使用する主オブジェクト以外のアプリです。参照関係先のアプリも指定する必要があります。

今回は、[会社名]を表示したいため、リレーションを作成しています。

見積書レコードに紐づく顧客情報レコードを取得するために、関連オブジェクトのリレーション設定では「[会社名]=[見積書.宛名]」を指定しています。

**注意** 複数のスペースの内容を1つのビューにまとめることはできません。



## 5.2.4 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

出力項目設定では、帳票に出力する項目を指定します。

「全項目を追加」ボタンで kintone アプリのすべての項目を追加することもできますが、一つずつ追加する場合は「+」ボタンをクリックして項目を増やし、「項目ビルダー」から内容を指定します。

「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 Quotation 全項目を追加

No	項目	項目ビルダー	ソート	グループ	出力項目名	
1	Account.会社名	項目ビルダー	順	昇順	AccountName	+ -
2	Quotation.備考	項目ビルダー	順	昇順	Remarks	+ -
3	Quotation.見積番号	項目ビルダー	順	昇順	QuotationNumber	+ -

項目ビルダー

テンプレートのCSVフィールド名と同じにする。

「列追加」ボタンをクリックし、オブジェクトと列を選択して追加します。

列追加ボタン

項目ビルダー

列追加

オブジェクト

列

検索名

オブジェクト：kintoneアプリの選択（リレーション設定で設定したショートネームで表示）  
列：オブジェクトで選択しているアプリにあるフィールドコード

関数を使用することも可能です。

項目ビルダー

列追加

関数

関数を選択可能

## 5.2.5 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定できる画面です。

商談に条件を追加します。以下のように設定をしてください。

パラメータ名は任意ですが、今回は「ID」とします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

### 出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 Quotation Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値	
1	見積番号	等しい(=)	パラメーター名 ID	+ -

2 Account Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値	
				+ -

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

一覧に戻る 戻る 元に戻す **保存**

### 注意

kintone アプリの一覧ページから帳票を出力したい場合は、[「7.2 リストページからの出力」](#)の Point を参考に出力条件を編集してください。

## 5.3 明細ビューの定義

### 5.3.1 ビュー定義: 詳細画面 – 基本設定

明細用のビューを作成します。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

基本設定

ビュー名 QuotationLineItem

タグ (Enterキーで確定)

戻る 元に戻す 次へ 保存

### 5.3.2 ビュー定義: 詳細画面 – リレーション設定

主オブジェクトに「見積書」を選択し、ショートネームを入力します。任意の名前ですが、例では以下のように設定しています。

見積書 = Quotation 商品リスト = Product

関連オブジェクトに「商品リスト」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。設定をしたら「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 見積書 Quotation

No 関連オブジェクト

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	商品リスト	Product		

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	型番	等しい(=)	0-見積書	型番

AND + -

戻る 元に戻す 次へ 保存

<主オブジェクトと関連オブジェクトについて>

ヘッダービューの時と同様に、参照項目先のオブジェクトとリレーションを作成します。

リレーション設定では、「[商品リスト.型番]=[見積書.型番]」を指定しています。

**注意** 複数のスペースの内容を1つのビューにまとめることはできません。

### 5.3.3 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

ヘッダービューと同様に、帳票に出力する項目を指定します。

「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 Quotation 全項目を追加

No	項目	項目ビルダー	ソート	グループ	出力項目名		
1	Product.商品名	項目ビルダー	順	昇順 順	ProductName	+	-
2	Quotation.見積番号			昇順 順	QuotationNumber	+	-

帳票には表示しないが、見積番号の項目を作成しておく。

### 5.3.4 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定する画面です。

ヘッダービューと同じように、「見積番号」が「ID」と「等しい(=)」を指定し、保存します。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 Quotation Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値		
1	見積番号	等しい(=)	パラメーター ID	+	-

2 Product Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存

#### 注意

kintone アプリの一覧ページから帳票を出力したい場合は、[「7.2 リストページからの出力」](#)の Point を参考に出力条件を編集してください。

# 6. マッピング定義

各ビューを一つのデータの固まりとしてまとめ、帳票テンプレートと紐づける「マッピング」の定義を行います。

## 6.1 マッピングの作成

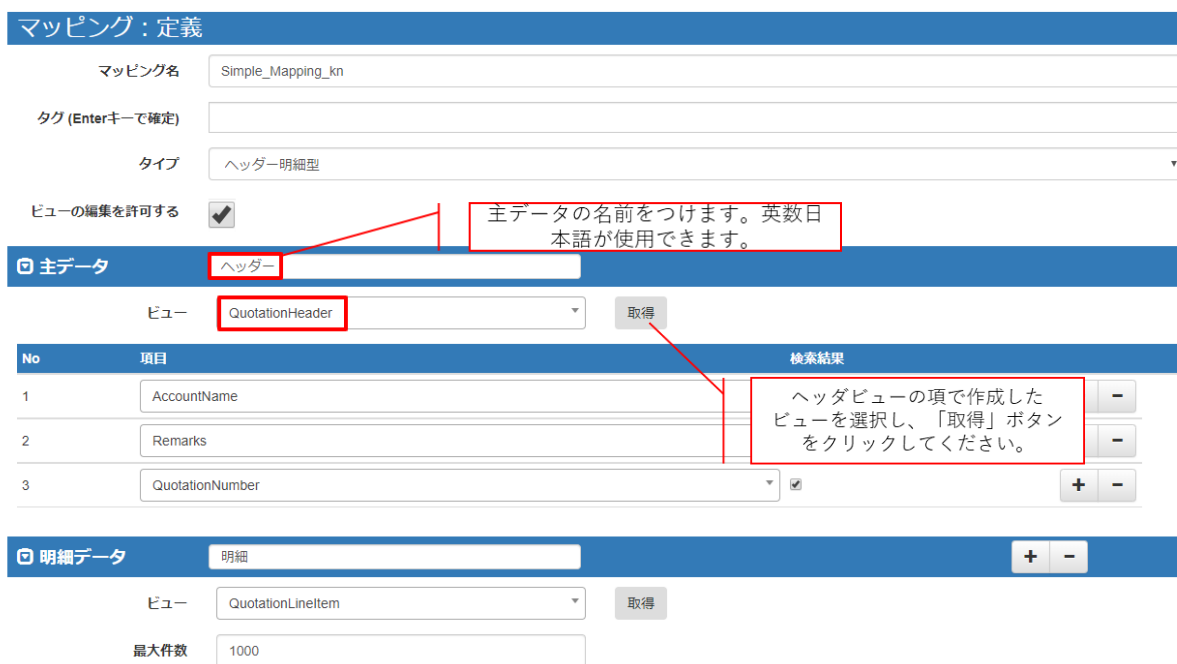
最初に、「マッピング」タブを開いて「新規」ボタンをクリックします。



## 6.2 マッピング管理: 詳細画面

マッピング名とタイプを指定します。タイプは「ヘッダー明細型」を選択してください。

主データには、ヘッダービューを指定します。



マッピング: 定義

マッピング名: Simple\_Mapping\_kn

タグ (Enterキーで確定):

タイプ: ヘッダー明細型

ビューの編集を許可する:

主データ: ヘッダー

ビュー: QuotationHeader

取得

No	項目	検索結果
1	AccountName	
2	Remarks	
3	QuotationNumber	<input checked="" type="checkbox"/>

明細データ: 明細

ビュー: QuotationLineItem

取得

最大件数: 1000

主データの注釈: 主データの名前をつけます。英数日本語が使用できます。

ヘッダビューの項で作成したビューを選択し、「取得」ボタンをクリックしてください。

明細データも、主データと同様に設定を行います。

設定ができれば、「次へ」をクリックしてください。

明細データの名前をつけます。英数日本語が使用できます。

明細ビューの項で作成したビューを選択し、「取得」ボタンをクリックしてください。

主データと明細データを紐づけるキーを設定します。[見積番号]が同じであることをキーにしたいので、「QuotationNumber」を指定します。

No	項目	結果	主データとの結合
1	ProductName	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
2	QuotationNumber	<input checked="" type="checkbox"/>	QuotationNumber

## 6.3 マッピング管理: 出力設定画面

[出力確認]タブの「データ表示」で取得データの確認を行えます。  
問題がなければ、[Documentizer]タブをクリックします。

マッピング：定義 (Simple Mapping)：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

出力情報確認

添付CSVファイル

文字コード UTF-8

ファイル リクエストパラメーター名

ファイルを選択 選択されていません

出力条件にパラメータを指定している場合、  
直接値を入力します。

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

ヘッダー

明細

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存 配備

**Point** データ表示の際に、出力バージョン(※)の指定が可能です。

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

Ver.2

Ver.3

ヘッダー

※出力バージョン切り替えの詳細については、以下ページをご参照ください。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(kintone\)](#)

**注意** ここで指定した出力バージョンが、後に kintone 環境に設置する帳票出力ボタンの挙動に影響することはありません。

帳票テンプレートとのマッピングを行います。以下 3 つの設定を行います。

- ① テンプレートを選択
- ② データにビュー定義を指定
- ③ テンプレートの CSV フィールドとビュー定義のデータフィールドをマッピング  
(左側「データ」(=テンプレートのフィールド名)と右側「データフィールド」(=ビューの出力項目)を結びつける)

マッピング：定義：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

Documentizer

プロパティ

データ ヘッダー

出力ファイル名 Live側の帳票テンプレートを指定します。

テンプレート + -

td1

データ ヘッダー

「td1」には、[マッピング管理：詳細画面]の主データを選択します。

No	データ	データフィールド	画像
1	AccountName	AccountName	
2	Remarks	Remarks	

自動マッピング

「自動マッピング」でテンプレートと簡単にマッピングができます。

「td2」には明細データを指定します。  
マッピングが完了したら、「配備」をクリックしてください。

td2

データ 明細

No	データ	データフィールド	画像
1	ProductName	ProductName	

自動マッピング

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存 配備



# 7. 出力ボタンの作成

kintone のレコード画面から帳票を出力するボタンを作成します。

kintone のレコード画面から ViewFramer で帳票出力をするためには、出力をリクエストするボタンを kintone 上に作成する必要があります。

## 7.1 詳細ページからの出力

レコードの詳細ページから、1つのレコードについて帳票を出力する方法を説明します。

1. まず、プラグインの設定をします。

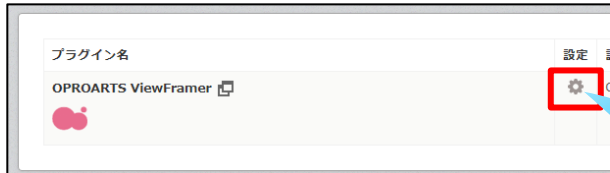
ボタンを設置したいアプリ(ここでは「見積書」アプリ)の設定画面を開き、[設定]からプラグインを選択します。



2. [プラグインを追加]をクリックすると、OPROARTS ViewFramer のプラグインが表示されます。  
チェックボックスにチェックをいれて、[追加]をします。



3. 次に[設定]をクリックし、ボタン設置設定の「追加」をクリックします。



4. [追加]をクリックすると、このアプリ上で出力が可能なマッピングの一覧が表示されます。  
出力したいマッピングを選んで、追加をします。  
追加後、「保存」をクリックし、アプリの更新を行ってください。

マッピング設定選択ダイアログ

	マッピング名	タイプ
<input type="radio"/>	BizFAX_kn_D3Worker	単票型
<input type="radio"/>	BizFAX_kn_Documentizer	ヘッダー明細型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone	単票型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone_Preview	単票型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone_tsdemo	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone01	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone02	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone_rd	単票型
<input type="radio"/>	DCSS_for_kintone_Hearingsheet	単票型
<input type="radio"/>	Kintone_CloudSign	単票型
<input type="radio"/>	Kintone_GMOAgree_keiyakusyo	単票型
<input type="radio"/>	Quote_kin_word	ヘッダー明細型
<input checked="" type="radio"/>	Simple_Mapping_kn	ヘッダー明細型
<input type="radio"/>	SonyDCSSKintone	単票型

追加      キャンセル

5. 操作の「編集」から、ボタンの詳細設定が行えます。

ボタン

ここで設定したボタンがアプリに表示されます。

追加      マッピングを選択してボタンを追加します。

	マッピング名	ボタン名	ボタンの種類	タイプ	設置場所	開発中	出力形式	操作
<input type="checkbox"/>	Simple_Mapping_kn	出力	出力	ヘッダー明細型	詳細ページ	開発中	PDF	編集

6. 開発中にチェックを入れると、開発中ボタンを「表示する」と設定したユーザーにのみこのボタンが表示されます。ボタンを全てのユーザーに対して表示したい場合は、チェックを外してください。

設置場所	詳細ページ
開発中	<input checked="" type="checkbox"/> オンにすると特定のユーザーのみに表示されます。

7. 出力バージョンを指定します。

出力設定	
設定名	値
出力バージョン	Ver.3

**Point** 出力バージョン(Ver. 2、Ver. 3)の違いは以下ページに記載の通りです。  
[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(kintone\)](#)

8. ID(ヘッダービューと明細ビューの2つ分あります)に「見積番号」を選択して「変更する」をクリックします。

パラメーター	
パラメーター名	値
ID	項目名   見積番号
ID	項目名   見積番号
変更する   キャンセル	

9. 全体を[保存]し、アプリを更新します。

	マッピング名	ボタン名	ボタンの種類	タイプ	設置場所	開発中	出力形式	操作
<input type="checkbox"/>	Simple_Mapping_kn	出力	出力	ヘッダー-明細型	詳細ページ	開発中	PDF	編集

削除 選択したボタンを削除します。

**前処理/後処理**  
 帳票出力処理の前後に処理を差し込みたい場合は、処理を記述したJavaScriptファイルを指定してください。

前処理:  No file chosen

後処理:  No file chosen

見積書

フォーム 一覧 **グラフ** 設定

アイコンと説明 プラグイン カテゴリー

10. アプリの更新が完了したら、作成したアプリの詳細ページにボタンが表示されます。

クリックすると、表示されているレコードの情報を使用し、指定したレイアウトの帳票が出力されます。

見積書

アプリ: 見積書 > 一覧: 見積書一覧 > レコード: サンプル取引先

お見積書

サンプル取引先 様

見積番号 1  
 見積日 2019-06-03

行番	商品名	単価	数量	小計
1	製品1	100	1	100
2	製品2	200	2	400
3	製品3	300	3	900
4	製品4	400	4	1,600

**サンプル帳票** 2019/06/03

サンプル取引先

商品名
製品1
製品2
製品3
製品4
製品5

備考  
 サンプルテキスト

Page 1

## 7.2 リストページからの出力

レコードの一覧ページから、画面に表示されているレコード全てについてヘッダー明細型帳票を出力する方法を説明します。

**Point** リストページから帳票を出力する場合は、ViewFramerのヘッダービューと明細ビューの出力条件に関する設定が詳細ページから出力する場合と異なり、演算子に「等しい(=)」ではなく「いずれかと等しい(IN)」を用いる必要があります。

### ヘッダービュー

The screenshot shows the 'Output Condition Setting' page for the 'Header View'. It features a tabbed interface with 'Output Condition Setting' selected. A warning message states: 'Limitを越えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。' Below this, there are two sections for setting conditions. The first section is for 'Quotation' with a limit of 200,000. It contains a table with columns 'No', '項目名', '演算子', and '条件値'. The first row has '1' in the 'No' column, '見積番号' in '項目名', 'いずれかと等しい(IN)' in '演算子' (highlighted with a red box), 'パラメーター名' in '条件値', and 'ID' in another column. There are '+' and '-' buttons to the right. The second section is for 'Account' with a limit of 200,000 and an empty table below it.

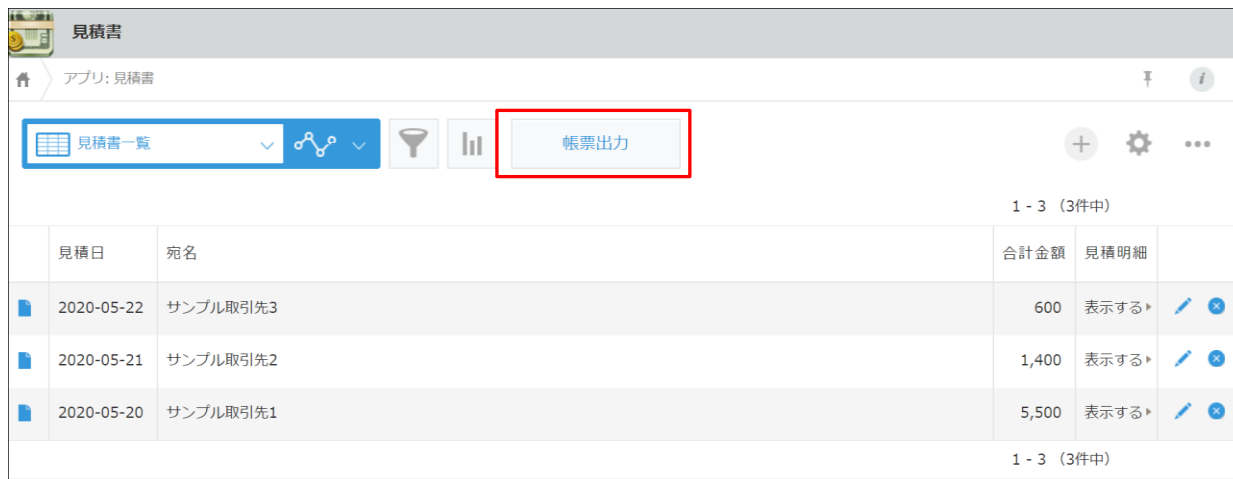
### 明細ビュー

The screenshot shows the 'Output Condition Setting' page for the 'Detail View'. It has the same layout as the 'Header View' page. The warning message is the same. The first section is for 'Quotation' with a limit of 200,000. The table has the same first row as the 'Header View' page, with 'いずれかと等しい(IN)' highlighted in red. The second section is for 'Product' with a limit of 200,000 and an empty table below it.

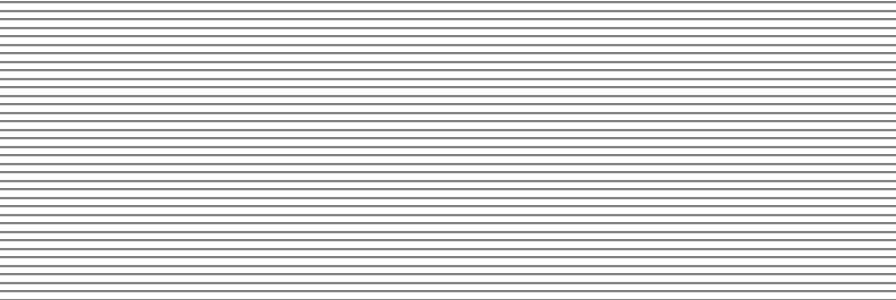
1. 「7.1 詳細ページからの出力」の1～5と同じ手順で、出力ボタンの詳細設定画面を開きます。
2. 「設置場所」に「リストページ」を選択します。

ボタン名	帳票出力
設置場所	リストページ
開発中	<input checked="" type="checkbox"/> オンにすると特定のユーザーのみに表示されます。

3. [「7.1 詳細ページからの出力」](#)の 7, 8 同様にパラメータの設定、保存、アプリの更新をします。
4. アプリの更新まで完了したら、作成したアプリのリストページにボタンが表示されます。  
クリックすると、絞り込まれているレコード（画面上に表示されているレコード）について、指定したレイアウトの帳票が出力されます。



各レコードについて生成された帳票は結合され、1つのPDFとして出力されます。



ViewFramer  
ユーザーガイド  
kintone ver.  
(PDF/ヘッダー明細)  
発行元 株式会社オプロ

